

放射性廃棄物保管庫について

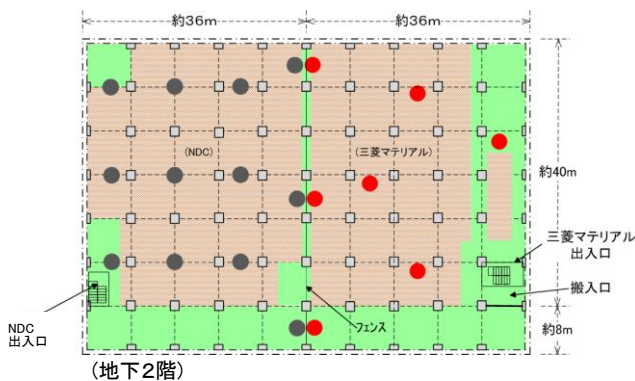
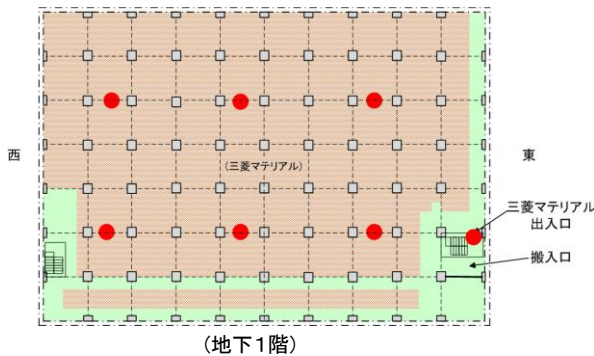
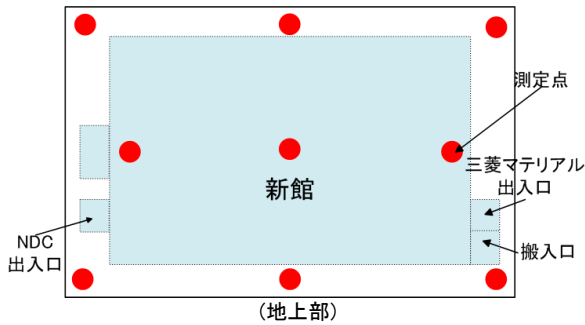
1. 目的

過去に実施した「原子力関係の研究開発」において発生した放射性廃棄物並びに試験研究施設の解体撤去及び所内全域調査の結果に基づいて回収した放射性廃棄物（研究施設等廃棄物）は、原子炉等規制法に基づく国及びさいたま市のご指導に基づき、適正に保管管理しております。また、その保管管理状況については、定期的に同市に確認していただいております。

現在、これら放射性廃棄物の処理・処分に向けて、国、日本原子力研究開発機構、原子力バックエンド推進センター、民間企業等が一体となって取り組んでおりますが、この保管庫は、最終処分先に搬出するまでの間、これら放射性廃棄物を保管するものです。

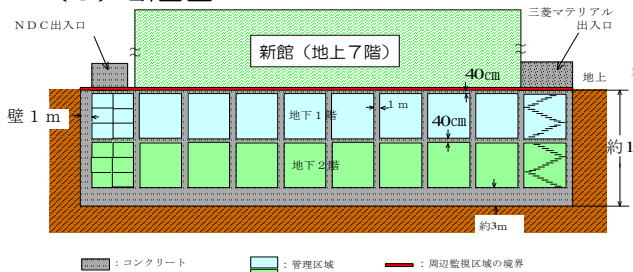
2. 概要

- (1) 構造 鉄筋コンクリート地下2階（地上：鉄骨造7階）
- (2) 深度 約17m。地上部から地下2階床面までは約14m（一般のビルの4階分相当）
- (3) 床面積 地下1階、地下2階とも、約3,300㎡（東西約72m×南北約48m）
- (4) 平面図



●●：主な測定点 ■■■：収納済区画

(5) 断面図



(6) 保管量

	収納容器の種類	個（本）
三菱マテリアル	角型容器（200ℓ [※] 缶換算）	3,797（30,773）
	200ℓ [※] 缶	（159）
NDC	角型容器（200ℓ [※] 缶換算）	1,180（9,196）

（200ℓ[※] 缶換算総本数：40,128本）

3. 安全対策と日常の管理

項目	内容	
安全対策（構造）	放射線防護	コンクリートの厚い壁や床により遮へい。
	地震対策	阪神大震災後に見直しされた新耐震基準に基づく。
	火災対策	自動火災報知設備、屋内消火栓、連結散水設備、粉末消火器を設置。 （定期的に点検）
	床の耐荷重	地下1階と地下2階に保管している放射性廃棄物などの総重量は、それぞれ床面の設計積載重量の40%程度。
管理規定など	管理規定などの制定	「核燃料物質使用許可施設管理規定」、「緊急措置要領」、「放射線管理要領」、「保管管理に係る点検要領」等の制定と適正運用。
	放射線管理	放射線管理区域及び周辺監視区域の設定。管理区域入域時の個人被ばく線量計の着用や放射線業務従事者の指定。
日常管理（測定・点検など）	放射線測定	管理区域内、周辺監視区域境界、オフィス棟内外等における空間線量当量率等、及び地下湧水中の放射性物質濃度の定期的測定（月1回又は週1回）。
	容器の点検作業	保管庫の状態及び放射性廃棄物の保管状態の点検（週1回）。個々の容器に対する腐食等外観検査も継続して実施。
	湿度管理	除湿機の設置。
	施錠管理	建物地上入口、地下各階入口。（敷地入口は守衛所）
	保管庫竣工後の安全対策等	ベルト固縛による耐震補強、地上入口への止水板設置施設付加、通信アンテナ設置、非常灯設置、照明のLED化、監視（暗視）カメラ設置、他。

4. 放射線測定の結果

主な測定点でのここ1年間（2025年5月～2026年4月）の空間線量当量率の測定結果（最小値～最大値）を示します。

場所	測定値	備考
地上部	0.04 μ Sv/h～0.11 μ Sv/h	周辺監視区域境界
地下保管庫	0.04 μ Sv/h～0.05 μ Sv/h	管理区域境界
	0.06 μ Sv/h～1.40 μ Sv/h	管理区域内

5. 情報公開

近隣にお住まいの皆様にご安心いただけるよう、日常管理（放射線測定、点検）の記録については、「近隣の皆様の相談室」に常設し、ご希望に応じて公開しております。

相談室の設置	「近隣の皆様の相談室」を設置し、各種お問い合わせにお答えしていくとともに、情報公開を行っております。
見学会開催	毎年秋に、近隣の住民の皆様にご覧いただく見学会を行っております。（注）
確認事項	「放射性物質及び放射性廃棄物」の外部からの持ち込みは行いません。

注）2020年～2022年は、コロナ禍で開催を見送りました。

お問い合わせ先：三菱マテリアル株式会社 さいたま総合事務所「近隣の皆様の相談室」

電話：0120-662-637（フリーダイヤル） Eメール：ml-k-soudan@mmc.co.jp

作成日（更新日） 2026年5月20日